

科目名	哲学史特講	担当者	コサカ 小坂	クニツグ 国継	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	-----------	------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>現在、著しい発展を遂げつつある科学・技術、あまりに細分化された専門領域とその知解、さらには無秩序に拡散している夥しい量の情報等を目の当たりにするとき、現代人はそれらをどのように受けとめてみずからの内に整理し統合するか、また自分が進むべき方向や取るべき態度をどのようにして決定するかについて明確な答えをもとめられています。その場合、人類の英知の結晶ともいべき哲学の歴史を学ぶことは大いに参考になるばかりか、重要な意義を有しているように思われます。この講座を通して、受講生が自分の生き方や考え方の基本を確立するようになることを心から願っています。</p>		
到達目標	<p>前期は、基本教材1にしたがって古代と中世の哲学史を学んでください。その場合、とくに「実在」をどうとらえるかという問題を中心にして、哲学史全体の流れを的確に把握するというところに力を置いてください。</p> <p>後期は、基本教材2にしたがって現代の哲学や思想の諸動向を理解し、それぞれの考えや主張に対して、その是非をも含めた自分の意見を述べることができるように努力してください。現代はあまりに価値観が多様化しているの、各人の主体的な態度決定がもとめられています。</p>		
学修方法	<p>基本教材を読みこなすにはかなりの時間がかかると思われます。早めに読み始め、いくつかの参考書などを併読することを勧めます。疑問点が生じたら、分からないままに放置しないで、そのつどメールで気軽に質問をしてください。できるだけ早く返事をいたします。</p> <p>哲学はほかの学問と違って、文章がなかなか難しく、専門用語が理解しづらいと思います。哲学辞典などを傍にしながら、繰り返しテキストを読み返すことを勧めます。</p>		
スケジュール	<p>大学院事務課から指定されるレポート締め切り期間に留意して、最終原稿は指定期間内に提出できるようにしてください。</p> <p>レポートの締め切り間際になってから初稿を提出されると、添削が行き届かない場合も生じます。初稿はなるべく夏休み中ごろまでに仕上げるようにしてください。何ごとも早め早におこなうことが肝要です。</p> <p>以上のことは、後期のレポートについても同様です。冬休み前には、現代哲学の諸動向を自分なりに俯瞰できるよう努力してください。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	①基本教材をよく勉強しているか、②レポートの内容が首尾一貫しているか、③単なる思いつきではなく、書いている内容の裏づけがあるか、④論旨が明快であるか、⑤日本語の文章として美しいか、等の観点から総合的に評価します。
	平常評価	20%	メールでの質疑応答や草稿の提出回数の多寡、あるいはメールのやり取りなどを通して窺われる研究態度などが評価の対象になります。
履修者への要望	<p>哲学を学ぶことは、単にテキストや参考書を読んで知識を習得することではありません。そうした知識を媒介として自分自身で考えることが大切です。「哲学を学ぶ」とは、「みずから哲学することを学ぶ」ことであるということ常々銘記してもらいたいと思います。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 峰島旭雄編著 教材名： 『概説西洋哲学史』 ミネルヴァ書房，1989年，ISBN 978-4-623-01875-8 3,000円+税
	タレスに始まる古代ギリシア哲学から中世哲学，近世哲学をへて，実存哲学，現象学，構造主義，マルクス主義，プラグマティズム，科学哲学等を含む現代哲学までを幅広く網羅したオーソドックスな概説書です。発売以来，すでに20版以上を重ねたポピュラーなテキストで，哲学史全般についての基礎知識を身につけるには最適です。
参考図書	哲学は専門用語がむつかしいので，『哲学辞典』があると便利です。岩波書店から出ている『岩波哲学小辞典』の購入を勧めます。また哲学史に関する啓蒙的な書物は多数出版されているので，実際に書店でご覧になって，自分に合ったものを購入されるといいでしょう。新書版や文庫版の廉価な本も多く刊行されています。インターネットで検索してみてください。
履修上のポイント	「温故知新」という言葉ありますが，およそ歴史を研究するのは，現在，私たちの考え方を拘束している文化的・社会的な制約を取り除いて，それを相対化し，主体的で自由な考え方を会得するためです。そのために過去の歴史を紐解くことがきわめて重要な作業になります。その意味で，すべての歴史は現代史なのです。つねに自分の考え方や生き方と結びつけて哲学史を学ぶよう心がけてください。
レポート課題 1	タレスからプロティノスに至るまでの古代ギリシア哲学者の「實在」観を概観しなさい。 留意点： 實在や世界の根本原理についての考え方がどのように変化していったかを自分なりにまとめることに力点を置くこと。
レポート課題 2	近代を代表する合理論と経験論がどのような哲学であるか，その特徴を述べ，それがどのようにしてカント哲学に総合統一されていったか，その経緯を解説しなさい。 留意点： 個々の思想家の思想よりも，全体としての哲学の発展の経緯が明瞭になるような形でレポートを作成すること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 小坂国継・本郷均編著 教材名： 『概説現代の哲学・思想』 ミネルヴァ書房，2012年，ISBN978-4-623-06110-5 3,500円+税
	現代の哲学や思想を17の学派やテーマ(問題領域)に分類して，それぞれの考えを明快に解説したテキストです。おそらく現代哲学や思想の全般を網羅したもっとも体系的な書物ではないかと思えます。これを読めば単に哲学だけではなく，医療倫理，環境哲学，深層心理学，科学技術論等の尖端的知識を得ることができると思います。
参考図書	この種の参考書も書店に多く出回っていますので，自分で実際に手にして，読む価値があるかどうか自分で判断してください。インターネットで検索し，新書本や文庫本のような廉価本の中から選ぶことを勧めます。
履修上のポイント	現代はものの考え方や価値観が多様化している時代だといわれます。いろいろと雑多な思想が混在して，相互に争いあっている状態です。履修に際しては，ただ単に知識の習得に専念するのではなく，自分自身の視点や考えを確立するよう努力してください。
レポート課題 1	基本教材で取り上げられている17のテーマのなかから，一つあるいは複数のテーマを取り上げて，その思想内容を解説し，併せてそれについて自分自身の意見を述べてください。 留意点： 現代思想には相互に関連のある思想や領域がありますので，できるだけ複数のテーマにまたがってレポートを作成すること。
レポート課題 2	レポート課題1で取り上げなかったテーマの内から，一つあるいは複数のテーマを取り上げて，その思想内容を解説し，併せて自分自身の考えを述べてください。 留意点： レポート課題1の場合と同様です。